

薬草園だより

No.66
October.10 2013

紅葉は見られませんが、大分秋らしく過ごしやすい陽気になりました。
今回は10月、通算66回目なので薬草園で旬なモノの中から
○(まる)い物に拘ってクローズアップしてみようかと思います。

丸々実っています。



↑オキナワズズメウリ

和名: オキナワズズメウリ ウリ科

オキナワズズメウリ属 アメリカ以外の熱帯・亜熱帯

Diplocyclos palmatus (L.) C.Jeffrey

日本では南西諸島などに自生しており、関東でも園芸種として栽培されています。また、その見た目から琉球オモチャウリ等と称されることもあります。同じような縦筋を持つカラスウリとは別属です。左写真のような2cmほどの液果をつけ、熟すと左下のような赤色になります。

右下はゴルフボールに見えますが、馬勃という生薬になる(可能性がある)ホコリタケ科(Lycoperdaceae)のキノコで、効能として止血・消毒などが挙げられます。一般にキノコ類は同定が難しいため、自生しているものを食したことに因る被害は毎年出ています。市販でないキノコには十分注意してください。

↓和名: バンジロウ フトモモ科 バンジロウ属

Psidium guajava L. 熱帯アメリカ原産

蕃石榴 <バンセキリュウ>(果実、葉)、樹皮、根皮

薬効: 抗菌、止瀉、消炎止血

名前に馴染みが無いかも知れませんが、グァバとして知られている植物です。更に熟すと紅黄或いは黄色に変化します。食用以外に染料としても使われています。



バンジロウ(グァバ)



ホコリタケ科のキノコ

→和名: クコ(枸杞) ナス科 クコ属

Lycium chinense Mill.

枸杞子(果実)、枸杞葉(葉)、地骨皮(根皮)

薬効: 血圧降下、抗脂肪肝性(枸杞子)

血糖低下、高圧、解熱(地骨皮)

果実が薬膳や杏仁豆腐の添え物などで見かける植物で、枸杞酒として滋養強壮などに用いられることもあります。



クコ

まだまだ続く、実りの秋

冬瓜(トウガン)



上で紹介した以外にも前々号に載せた冬瓜(左)や前号の望春花の実(右)も綺麗に実りました。丸いもの以外では葉より先に紫の花が咲くサフラン、白と紫の花がある桔梗、植えたばかりのトウ lindow 等々、他にも様々な花や実が見られます。皆さんも是非、薬草園に足を運んで観察してみてください!!



望春花